

小名木川、大横川
周辺

- 周辺の川をカヌーやサップで周遊できるようにする
- 植栽や看板を整備して散歩道を利用しやすくする
- 近くに喫茶店やキッチンカーを誘致する

仙台堀川公園、
横十間川親水公園
周辺

- 明るさ確保のため、照明を増やす
- 公園内に常時人がいる場所を設けて安全安心な場所にする
- ボートで遊べることをPRする

今後のまちづくり協議会活動の流れ

まちづくり協議会は、残り4回の協議会活動において、まちの目指す姿等の検討を深め、『まちづくり提案書』を作成し、令和7年7月に区へ提出することを目指します。

また、まちづくりニュースを通じて、アンケート等の実施をご案内していく予定ですので、ご協力いただけますと幸いです。



地区まちづくりニュースに関する連絡先

(仮称)千石駅周辺地区まちづくり協議会 事務局
江東区都市整備部 地下鉄8号線事業推進課
沿線まちづくり担当

【支援委託業者】

株式会社URリンケージ 都市・居住本部
都市再生部 都市再生企画課 担当：水野、橋本

所在地：東京都江東区東陽 2-4-24 サスセンター2階
電話：03(6803)6561

地区まちづくりニュースは、
江東区ホームページにも
記載しています。



<https://www.city.koto.lg.jp/397101/8gou-sennmachi.html>

(仮称)千石駅周辺の地区まちづくり

(仮称)千石駅周辺 地区まちづくりニュース

令和6年11月

第3号

発行：(仮称)千石駅周辺地区
まちづくり協議会
(支援委託：株式会社URリンケージ)

まちの目指す姿等について

協議を進めています!!

今号では、8月と10月に実施した第3回と第4回の『(仮称)千石駅周辺地区まちづくり協議会(以下、「まちづくり協議会」)』の様子や内容をお伝えいたします。



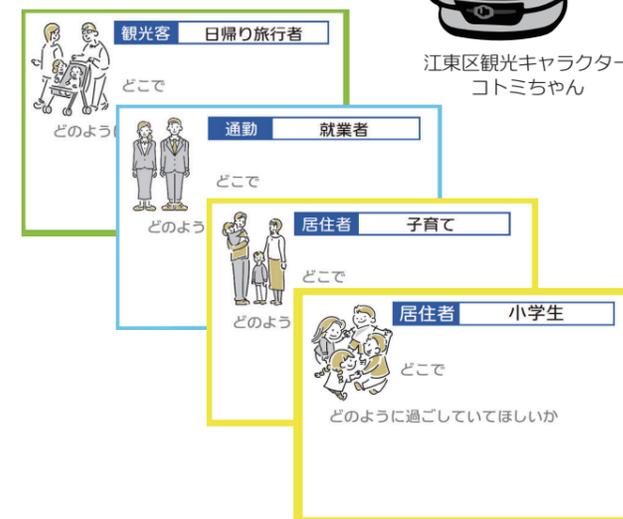
江東区観光キャラクター
コトミちゃん

第3回まちづくり協議会

前回のまちづくり協議会で作成したガリバーマップのほか、人口や土地利用、交通事故の発生状況等の地域に関するデータを踏まえ、各班に分かれてグループワークを行いました。

グループワークでは、居住者や就業者、来街者などの人物になりきって、新駅設置後のまちで「どこで」「どのように過ごしてほしいか」を生活シーンカード(右図)に書き込み、地図に貼り付けることで、まちの将来像をイメージしながら、**将来のまちの目標**を話し合いました。

その後、その**目標に対するまちの課題**について意見を出し合いました。



生活シーンカードの一例



地域に関するデータの説明の様子

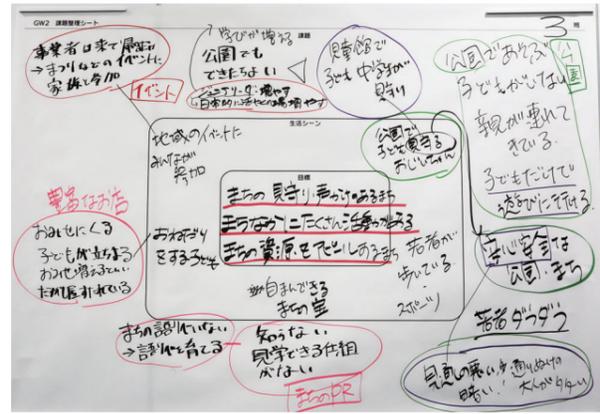


グループワークの様子

グループワークで話し合った**まちの目標と目標に対するまちの課題**（一部抜粋）を紹介します。



生活シーンカードを貼り付けたワークシート



将来のまちの目標と目標に対する課題を検討したワークシート

目標 挨拶のある人がつながるまち

課題 地域でこどもの見守りができていない。また、こどもの行事が減っており、子ども同士のつながりが薄くなっている

目標 まちの資源をアピールするまち

課題 地域資源や魅力はたくさんあるが、みんなに知られていない

目標 みんなが楽しめるまち

課題 安心して子育てができるまちではあるが、お店が少なく、楽しめるまちではない

目標 にぎわい（活気）のあるまち

課題 近くにスーパーや商店がない

目標 安全・安心なまち

課題 災害対策やバリアフリーへの対応が不十分である

第4回まちづくり協議会

アドバイザーとして参画していただいている芝浦工業大学志村教授の研究室の学生から「(仮称)千石駅周辺の地区まちづくり」に関する研究発表がありました。

その後、グループワークで目指す姿の実現に向けた**場所ごとの取組**などについて話し合いました。



グループワークの様子



芝浦工業大学の学生による研究発表の様子



グループワーク成果発表の様子

グループワークで話し合った**まちの目指す姿の実現に向けた場所ごとの取組**（一部抜粋）を紹介します。

商店街周辺

- 休日に歩行者天国を開催し、休日だけ出店するお店や食べ歩きなどでにぎわいを創出する
- 地域らしさとなるような文化をつくって情報を発信していく
- 核となる店を誘致してにぎわいを波及させていく

(仮称)千石駅前周辺

- 自転車と歩行者の動線を分ける
- モニュメントを駅前に設置する
- 駅の近くや駅の中に生活を支えるお店をつくる

まちなか全体

- 集会所などを活用して、子ども向けの屋内施設を整備する
- 子どもが落書き・アート制作、昔遊びできる場をつくる
- 古き良き街並みを守る

四ツ目通り、清洲橋通り沿い周辺

- 四ツ目通りの拡幅整備の際に無電柱化する
- 歩きやすい空間に整備する
- 植栽を地域の人々の力で管理できる仕組みをつくる



グループワーク成果発表の様子



志村教授からの講評の様子